

ホーム名	チェリーコート四街道
評価機関名	川原経営総合センター

開設日	平成2年 6月17日
調査日	平成25年2月22日

No.	項目名	自己評価	機関評価	No.	項目名	自己評価	機関評価
①運営主体の姿勢	1.1.1 経営姿勢の周知	B	B	④生活サービス	4.1.1 生活相談業務	A	A
	1.1.2 経営における社会的責任	A	A		4.1.2 小口現金管理	C	A
	1.1.3 コンプライアンスへの取り組み	B	A		4.1.3 生活利便サービスの実地	A	A
	1.1.4 法人の事業計画	A	A		4.1.4 外部からの生活サービスの導入	A	A
	1.2.1 財務状況の改善・向上	B	A		4.2.1 コミュニケーション	A	A
	1.2.2 資金管理	C	B		4.2.2 アクティビティの計画的な実施	A	A
	1.3.1 事業関連情報の提供	A	A				
	1.3.2 個人情報保護義務	A	A	⑤食事サービス	5.1.1 バリエーション	A	C
	1.3.3 個人情報の管理	B	A		5.1.2 入居者のニーズ反映	A	B
	1.4.1 職員育成	B	B		5.2.1 自立の観点での食事介助	A	A
	1.4.2 職員の評価・報酬	B	A		5.2.2 疾病に対応した食事の提供	A	A
	1.4.3 人事考課	A	A		5.2.3 適温での提供	A	A
	1.4.4 職員のモチベーション維持	B	A		5.2.4 個別の食事管理	A	A
	1.4.5 職員の就業状況への配慮	A	A		5.2.5 口腔ケアへの取組み	A	A
	1.4.6 中間管理職の役割	B	A	⑥ケアマネジメント	6.1.1 介護の提供方針	A	A
	1.4.7 資格取得への支援	A	A		6.1.2 接遇上の配慮	A	A
	1.4.8 入居募集に係る職員への指導	A	A		6.1.3 介護保険の制度説明	A	A
	1.5.1 入居者の権利擁護	A	A		6.2.1 ケアマネジメントの実施	A	A
	1.5.2 権利擁護に係る外部との連携	A	A		6.2.2 個別アセスメントの実施	A	A
	1.5.3 虐待防止への組織的対応	A	A		6.2.3 ケアプランの作成	A	A
	2.1.1 運営理念の周知	A	A		6.2.4 暫定ケアプラン作成	A	A
②ホームの運営方針	2.1.2 ホームの事業計画の策定・評価	A	A		6.2.5 ケアプランの見直し	A	A
	2.2.1 見学受け入れの姿勢	A	A		6.2.6 ケース会議の開催	A	A
	2.2.2 体験入居の取組み	A	A		6.2.7 ケース会議等の個人情報利用	A	A
	2.2.3 入居条件の緩和	A	A		6.2.8 家族等との連携	A	A
	2.2.4 契約書類内容の整合性	A	A		6.2.9 身体拘束廃止への取組み	A	A
	2.2.5 契約関係書類の開示時期	A	A		6.3.1 職員の技術向上	A	B
	2.2.6 特定施設利用契約の説明時期	A	A		6.3.2 職員の認知症介護技術向上	B	B
	2.2.7 利用料改定方法	A	A		6.3.3 サービス評価の実施	C	C
	2.2.8 契約解除に係る入居者保護	A	A	⑦ケアサービス	7.1.1 健康管理	A	A
	2.2.9 保全措置	A	A		7.1.2 緊急通報装置への対応	A	A
	2.2.10 短期解約特例	A	A		7.2.1 閉じこもりの予防	A	A
	2.2.11 原状回復取扱規定	B	A		7.3.1 個別ケア(入浴)の実施	B	A
	2.3.1 要介護者等への職員配置	A	A		7.3.2 入浴介助時のプライバシー配慮	A	A
	2.3.2 夜間の職員配置	B	B		7.3.3 入浴環境の整備	A	A
	2.3.3 サービスの質向上への取り組み	A	A		7.3.4 入浴介助中の事故防止対策	A	A
	2.3.4 ニーズの把握	A	A		7.4.1 個別ケア(排泄)の実施	B	A
	2.3.5 運営懇談会の開催	B	B		7.4.2 排泄介助時のプライバシー配慮	A	A
	2.3.6 ホーム運営状況の報告方法	C	C		7.4.3 オムツ交換の実施	A	A
	2.3.7 介護保険会計との区分	B	B		7.4.4 臭気への配慮	A	B
	2.3.8 ホーム以外の事業会計との区分	B	A		7.4.5 排泄介護用具の選定	A	A
	2.3.9 社内の苦情処理体制	A	A		7.5.1 じょくそう予防	A	A
	2.3.10 社外の苦情処理体制	A	A		7.5.2 寝・食分離への取組み	A	A
	2.3.11 損害賠償	A	A		7.5.3 福祉用具の選定	A	A
③建物設備	2.4.1 金品授受の取扱い	A	A		7.5.4 館外での介助	A	A
	2.4.2 業務マニュアルの策定・見直し	A	A		7.5.5 機能訓練の実施	A	A
	2.4.3 事故防止への取組み	A	A		7.5.6 居住環境の整備	B	B
	2.4.4 感染症予防の取組み	A	A		7.5.7 他の入居者との関わり支援	A	A
	2.4.5 災害対策マニュアルの整備	A	A		7.6.1 医療機関との協力	A	A
	2.4.6 防災訓練の実施	A	A		7.6.2 家族との医療面での連携	A	A
	3.1.1 バリアフリー	B	A		7.6.3 服薬管理の実施	A	A

〈評価機関初見〉

1. 優れた取り組みと思われる点

No	内容
2-1-1	法人理念、ホームの理念は研修等で職員への周知が図られているほか、施設長より発信される「社内通信」でも理念について触れており、全職員が常に理念を再確認しながら、日常の入居者へのケアにつなげられるよう浸透を図っています。ホームでの入居者の生活を支えていくために、職員の柱となる理念を常に意識して、様々な取り組みがその理念に基づいた行動等になるよう、繰り返し職員への周知がなされています。
2-3-5	年2回の運営懇談会の開催に加え、毎月1回、「ファミリーカン」を開催し、入居者と家族に参加いただき意見交換の場を設けています。「ファミリーカン」は、施設長が先導して行う、「もっと元気になり体操」という転倒予防体操から始まり、皆で身体を動かしてからざくばらんに意見交換し合う会となっています。「ファミリーカン」であがつた要望に応えるかたちで、今回外出企画も実施しています。「ファミリーカン」の内容についても議事録を入居者、家族に配布し情報共有を図っています。主としてホームの運営報告の場となっている「運営懇談会」とは違う雰囲気の中で、入居者等の意向把握する機会を積極的に作り、ホームでの活動等に取り入れています。
2-4-3	ホーム内で起こった事故や挙がってきたヒヤリハットについては、事故対策委員会にて集計、分析が行われています。「トラブル発生をめぐる3つの要因」として、1.利用者に対する理解、2.状況への配慮、3.気付きが足りない、について分析し、「事故って避けられる？避けられない？」と掘り下げて検討し、再発防止に努めています。また、ヒヤリハットについても、「ヒヤリハットが出ていない？何故？」とやはり分析し、委員会で検討した内容を報告書にまとめ、職員に回覧し分析内容等の共有を図っています。事故後の対策だけに着目するのではなく、実際に起きた要因をまずは検証し、未然に防ぐための取り組みにつながるよう、取り組んでいます。
4-2-2	ホームでは四季折々の年間行事と、学習療法や音楽療法、書道、フラワーアレンジメント、編み物、マージャン等のサークル活動、音楽会やオカリナ演奏会等の催し物等、多様なアクティビティや活動を実施しています。今年度は「ファミリーカン」で挙がった要望から、スカイツリー見学や夕食を済ませてからイルミネーションを観に行くなど、新しい試みもありました。もし、入居者が自宅にいるとするとどうなのか、入居者の思い出になることは何か、という視点で行事も企画し、実施しています。行事実施後は、ホーム内全部門にアンケートを実施し、多角的な意見を吸い上げて次回につなげるための検討を行っています。
6-2-8	毎月、家族に向けて入居者の「近況報告」を送付しています。記載内容は、近況報告や行事報告と、不足している物品等のほか「課題」として、入居者に関することで今ホームが抱えている課題を記載しています。家族にも理解いただきながら共に入居者を支えていくというホームの取り組みです。家族にも率直に入居者に関する情報を発信していくことで、家族との関係性の構築にもつながっていくと推察されます。また、ホームに足を運んでいただく機会を提供するため、行事案内も送付しており、家族とともに入居者へのケアが行えるよう取り組んでいます。

2. 改善を要すると思われる点

No	内容
1-1-1	法人で策定している自主行動基準は、研修等を通じて職員への周知が図られていますが、外部に対しての発信は現在行っていません。法令遵守マニュアルには、「基本原則」として、自主行動基準がコンパクトに分かりやすくまとめられています。ホームページ等を通して、法人の「基本原則」を広く発信し、法人の取り組みに対する理解を深めていただけるよう取り組むことが期待されます。
2-3-6	運営懇談会は年2回実施し、ホームの事業報告等を行っていますが、収支報告についてはこれから実施予定となっており、行われていない現状にあります。ホーム全体の状況を入居者、家族等が理解しやすい方法で情報提供できるよう取り組むことが期待されます。